

作成日: 2020年2月21日

改訂日:

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 moumouリードディフューザー シルク
 会社名 株式会社 大香
 住所 東京都中央区銀座3-5-8
 担当部門 商品企画部
 TEL:03-3567-8456 FAX:03-3535-2795
 SDS番号 SDS-PLN-DK0B21-RD01

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】

引火性液体 : 分類できない
 急性毒性(経口) : 分類できない
 急性毒性(経皮) : 区分外
 急性毒性(吸入) : 分類できない
 皮膚腐食性・刺激性 : 区分2
 眼に対する重篤な損傷性 : 区分2A
 呼吸器感作性 : 分類できない
 皮膚感作性 : 区分1
 生殖細胞変異原性 : 分類できない
 発がん性 : 分類できない
 生殖毒性 : 区分1A
 特定標的臓器毒性(単回) : 区分3(気道刺激性、麻酔作用)
 特定標的臓器毒性(反復) : 区分1(肝臓)、区分2(神経、精巣)
 吸引性呼吸器有害性 : 分類できない
 水性環境急性有害性 : 区分3
 水性環境慢性有害性 : 区分3

【GHSラベル要素】

絵表示又はシンボル



注意喚起語

: 危険

危険有害性情報

H315 : 皮膚刺激
 H317 : アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
 H319 : 強い眼刺激
 H335 : 呼吸器への刺激のおそれ
 H336 : 眠気又はめまいのおそれ
 H360 : 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
 H372 : 長期間にわたる、又は反復ばく露による肝臓の障害
 H373 : 長期間にわたる、又は反復ばく露による神経、精巣の障害のおそれ
 H412 : 長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

安全対策

- P201 : 使用前に取扱説明書を入手すること。
 P202 : 全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
 P260 : ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
 P261 : ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
 P264 : 取扱い後は手をよく洗うこと。
 P270 : この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
 P271 : 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
 P272 : 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
 P273 : 環境への放出を避けること。
 P280 : 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置

- P302+P352 : 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
 P304+P340 : 吸入した場合：空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 P305+P351+P338 : 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 P308+P313 : ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。
 P312 : 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
 P314 : 気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。
 P321 : 特別な処置が必要である(このラベルの補足的な応急措置の説明を見よ)。
 P332+P313 : 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。
 P333+P313 : 皮膚刺激又は発疹が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。
 P337+P313 : 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。
 P362+P364 : 汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管

- P403+P233 : 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

廃棄

- P501 : 内容物/容器を市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成・成分情報

- 単一製品・混合物の区別 : 混合物
 一般名 : フレグランス製品
 危険有害成分 : エタノール

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、頭を低くして横向きに寝かせ、身体の保温に努める。応急措置を施した後、必要に応じて医師の診断を受けること。
 皮膚や衣服に付着した場合 : 石鹸で十分に洗浄した後、清浄な水で洗い流す。必要に応じて医師の診断を受けること。
 眼に入った場合 : 目を擦らず、直ちに清浄な水で15分間以上注意深く洗う。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は、外して洗浄を続ける。眼の刺激が続く場合は、必要に応じて医師の診断を受けること。
 飲み込んだ場合 : 口をすすぎ、コップ1-2杯の水又は牛乳を飲ませて希釈する。無理に吐かせてはいけない。応急措置を施した後、必要に応じて医師の診断を受ける。患者に意識が無い場合には、口から何も与えず、吐かせずに医師の診断を受けること。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 耐アルコール泡、水、粉末、炭酸ガス
 特有の消火方法 : 火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。
 消火作業は、可能な限り風上から行う。
 消火剤を火元へ放射、散布等をして消火する。
 延焼防止のため周囲の設備等に散水して冷却する。
 周辺火災の場合、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。
 危険を避けられれば燃焼源の供給を遮断する。

消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 (保護具及び緊急時措置) : 作業の際は、吸入したり皮膚に触れたりしないよう適切な保護具を着用し、換気を良くして処理する。
 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
 多量の場合、人を安全に退避させる。

環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川等に排出され、環境に影響を起こさないように留意する。

除去方法 : 多量の場合、盛土で囲って流出を防止する。
 少量の場合、吸着剤（おがくず、土、砂、ウエス等）で吸着させる。

二次災害の防止策 : 漏出源を遮断し、漏れを止める。
 付近の着火源となるものを速やかに取除くと共に消火剤を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 火気厳禁。電気機器類、静電気、スパーク等による着火源を生じないようにすること。
 保護手袋及び保護眼鏡を着用すること。

設備的注意事項 : 局所排気装置の設置、設備の密閉化又は全体換気を適正に行う。

安全取扱い注意事項 : 蒸気の吸入、皮膚への接触を避ける。
 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

保管

適切な保管場所 : 通気の良い場所で容器を密栓して保管する。
 直射日光、高温多湿を避け、必ず室内暗所保管とする。

安全な容器包装材料 : 製品使用容器に準ずる。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 必要に応じて局所排気装置等を設置する。
 取扱いの際は、密閉された装置又は局所排気装置を使用する。

管理濃度 : データなし

許容濃度

日本産業衛生学会 : データなし

ACGIH : データなし

成分名	CAS No.	管理濃度	許容濃度	ACGIH-TLV(TWA)
エタノール	64-17-5	-	-	1000ppm

保護具

呼吸器用の保護具 : 保護マスクを着用する。

手の保護具 : 保護手袋を着用する。

眼の保護具 : 保護眼鏡を着用する。

皮膚及び身体の保護具 : 保護服(長袖作業服等)を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観 : 無色～淡黄色透明液体

臭い : 特有の香気

pH(原液) : データなし

融点・凝固点 : データなし

沸点 : データなし

引火点 : データなし

自然発火温度 : データなし

燃焼又は爆発範囲 : データなし

比重(25°C) : データなし

溶解性	: 水に不溶
分解温度	: データなし

1 0. 安定性及び反応性

安定性	: 熱、光に対し不安定である。 40°C以上の高温及び直射日光下での長期放置は品質劣化を起こすので避けること。
危険有害な分解生成物	: データなし

1 1. 有害性情報

: 製品(混合物)及び主要成分の情報(GHS分類)は、別表のとおり。

1 2. 環境影響情報

: 製品(混合物)及び主要成分の情報(GHS分類)は、別表のとおり。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 焼却炉で少しずつ燃焼処理するか、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託処理する。廃棄物処理法(廃棄物及び清掃に関する法律)、及び関係法規・法令を遵守して、適正に処理する。
残余廃棄物	: 内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託処理する。廃棄物処理法(廃棄物及び清掃に関する法律)、及び関係法規・法令を遵守して、適正に処理する。

1 4. 輸送上の注意

国際規制	
国連番号	: 1266 香料製品類 (PERFUMERY PRODUCTS,with flammable solvent)
国連分類	: 引火性液体類
国内規制	
陸上輸送	: 消防法、労働安全衛生法に定められている輸送方法に従う。
海上輸送	: 船舶安全法に定められた輸送方法に従う。
航空輸送	: 航空法に定められた輸送方法に従う。
輸送時の安全対策及び条件	: 容器の破損、漏れ等がないことを確かめる。荷崩れの防止を確実にを行う。該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。

1 5. 適用法令

化学物質管理促進法(PRTR法)	: 非該当
労働安全衛生法-通知対象物質	: (2)-202 エタノール
毒劇物取締法	: 非該当
消防法	: データなし
船舶安全法	: データなし
航空法	: データなし

16. その他の情報

記載内容の問い合わせ先

： 株式会社 大香 商品企画部 TEL:03-3567-8456

引用文献

1)独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE)GHS分類結果

2)香料のGHS対応の手引き 日本香料工業会

本資料は現時点で入手可能な情報に基づいて作成しておりますが

記載のデータや評価に関しては、いかなる保証も致しかねます。

使用される環境や条件により化学品には未知の有害性が生じますので

本品のお取扱いには細心の注意をはらってください。

注意事項は通常のお取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをされる場合には

新たに用途・用法に適した安全対策を実施願います。

本品の適性に関する決定は、使用者の責任において行ってください。

別表 製品及び主要成分の有害毒性情報、環境影響情報(GHS分類) ^{1) 2)}

有害性項目	製品のGHS分類	主要成分のGHS分類
		エタノール
1.急性毒性(経口) LD ₅₀ (ラット)mg/kg	分類できない	区分外
1.急性毒性(経皮)	区分外	区分外
1.急性毒性(吸入)	分類できない	区分外
2.皮膚腐食性・刺激性	区分2	区分外
3.眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分2A	区分2B
4.呼吸器感作性	分類できない	分類できない
4.皮膚感作性	区分1	分類できない
5.生殖細胞変異原性	分類できない	分類できない
6.発がん性	分類できない	区分1A
7.生殖毒性	区分1A	区分1A
8.特定標的臓器毒性(単回)	区分3 (気道刺激性、麻酔作用)	区分3 (気道刺激性、麻酔作用)
9.特定標的臓器毒性(反復)	区分1(肝臓) 区分2(神経、精巣)	区分1(肝臓) 区分2(中枢神経系)
10.吸引性呼吸器有害性	分類できない	分類できない
11.水性環境急性有害性	区分3	区分外
11.水性環境慢性有害性	区分3	区分外